



その 286

クローズアップ21

14年振り3度目の日本女子OP開催 大利根カントリークラブ

歩きプレーの伝統的運営も来年7月に乗用カート24台導入



大利根CC大森啓幹支配人（左）、関脇剛支配人代理

大利根カントリークラブ（36
H、茨城県坂東市、1960年
開場）は、高低差わずか3mと
いうフラットで松林に囲まれた
典型的な林間コース。コースは
40コース以上を手掛けた名匠・
井上誠一氏によって設計された。
株主会員制として会員の利用
を中心とした伝統的運営がなさ
れており、ゴルフ場の年間来場
者数（23年度）は約6万人弱、
メンバー数は約17000人、メ
ンバー平均年齢は65〜66歳で、
来場者率はメンバーが48%、ピ
ジターは52%、女性比率は約15
〜16%。60代〜70代の利用が中
心で来場者の8割が県外。主に

東京都、埼玉県、千葉県からの
ゴルフファンが多いという。
クラブの主な取り組みについ
て大森啓幹支配人、関脇剛支配
人代理よりお話を伺ったので内
容を紹介していきたい。

**フリー枠や歩きプレーに多
数のキャディに対応、25年
7月に5人乗り乗用カート
24台を導入**

大森支配人はゴルフ場キャデ
イの現状について次のように話
した。

「当クラブには現在正キャディ
が約40名、パート・アルバイト
さんや学生さんにも手伝ってい
ただいているので登録者数は計
100名ほどいますが、一度に
集められる人数は75名程度です。
当クラブではメンバーが予約な
しで到着順に回れる『フリー枠』
がありますので、平日でも70名、
日曜日でも予約なしで100名は
集まります。過去に一番多い時
は95組も来ましたので、キャデ
イが全く足りませんでした。フ
リー枠でプレーする一部のメン

バー様にはセルフでお願いして、それでも足りない組はキャディを回すことにしました」(大森支配人)

同CCは伝統的運営として歩きプレーが基本で、ゆったりとしたゴルフライフを過ごすメンバーが多いという。暑い時期には夏対策としてミネラルウォーターの無料サービスやレストラ

ンで氷のうの氷とドリンク用の氷を分けたり、休憩時間を通常より長めに設けているという。

なお、同CCは25年7月より5人乗りのリチウム式乗用カート24台を導入する。これまでと同様にフェアウェイ乗入れ方式で運用し、カートの導入に合わせ格納庫も今年度中に完成させていくとしている。



第57回日本女子オープンゴルフ選手権はJGA創立100周年記念大会として開催された

としている。

14年振り3度目の日本女子OP開催。コース改修はバンカーを中心に着手

大利根CCは、9月26〜29日に同CC西コースにて14年振り3度目の日本女子オープンが開かれた。

「2024年大会が日本ゴルフ協会創立100周年記念大会であるという情報をお聞きしたことがきっかけです。

21年3月に当クラブで開催したいと意思表示をしました。同年5月に協会側が東コース・西コース両方を視察のうえ、9月の協会の理事会で西コースでの開催承認をいただきました。



改修された西15番バンカー

女子OP開催の承認に伴い、22年1月に会員向けの説明会を開き、3月からコース改修を始めました。改修メインはバンカーで、約1年かけて52箇所のバンカーを直しました。

大会のお話があつてから約4年間の準備期間を経て、女子OP開催を迎えました。

また、ゴルフ場ではカラス対策に悩みました。前日の夕方にカップを切つても、翌朝にカップをつつかれてしまうので、カップ切りのやり直しをすることが多いです。鷹匠も呼ぶことも考えましたが、カップの所に超

カラスには超音波装置で対策



音波を発信する撃退グッズを着けて、カップを護りました。

コースセティングは、協会から『グリーンスピードが11〜12フィート、コンパクションは23〜24を目安に』との要望がありました。準備についてはグリーンの水管理がもの凄く大変で、今年の猛暑と多雨でコンパクションが思うように出なかった部分もあります。グリーンスピードは11フィート以上で、刈高は、グリーンが3・4mm(最終日)、FW11mm、ラフ100mmに仕上げ大会を迎えました。

また、一般営業をしながらトナメントを迎えることでお客様にご苦労をおかけしてしまいました。通常は2グリーンなので、大会用のグリーンともう一

方のグリーンを交互に使うのですが、大会準備期間中は、大会に使用しないグリーンの花道（一般ゴルフファーが打ちやすいように作っている芝が短い場所）をラフにしなければいけません。大会用のグリーンを使う時は良いのですが、もう一つのグリーンは花道がないので、一般のゴルフファーが打つてもボールが転がらず、スコアがまとまりません。大会直前はラフが伸びて、ボール探しも大変でした。

大会が終わると通常のコースに戻さなければいけません。あれだけ伸びたラフを一度に刈ることはできないので、1〜2カ月かけて徐々に長さを落としていきます。通常のコースに戻すには何カ月もかかりますので、お客様にはご迷惑をおかけします。

大会期間中は、近隣のゴルフ場コース管理スタッフさんや取引先のメーカーさんを含めて平均約50名が応援に駆けつけていただき本当に感謝しかございません」（大森支配人）

21年に東西スタートテラス建て替え。25年末〜26年初めにコース管理棟・管理機材倉庫を移転

「改修については、21年に東西のスタートテラスを立て替えました。ガラス張りのスタートテラスなので、建て替えた当初はメンバーさんから「モダンすぎて違和感がある」との声もありました（笑）。

ハウス改修につきましては、

2015年に2F食堂と浴室をメインに大規模な改修を行っています。

今までのハウス改修では一番費用をかけました。また、25年末〜26年初めに、コース管理機



同CCスタートテラス

材倉庫およびコース管理棟を移転して新しく建て替えます。場所は西コース14日と17日の間のスペースを活用する予定です。工事は来年の春から始めます」（大森支配人）

「コース改修は、バンカー改修以外はほとんど行っていないませんが、前回に女子オープンを行った際に、開場50周年を記念して東コースにクリークを作りしました。元々、井上誠一先生の設計図にはクリークがあつたのですが、ゴルフ場をオープンする時にクリークができなかったもので、50周年を機に作るこ



現在のコース管理棟

になりました。

今後は散水設備の改修に着手していく予定です。当コースの散水管は、36ホール1つのルートで動いています。距離が長い分、十分な水圧が取れません。これからは東コース・西コースをそれぞれ単独の散水ルートに変えていくことで短い散水時間で効率も良くなります。なおかつ、無人芝刈機を2台入れていきますので、無人芝刈機を夜に稼働させるために、散水時間を出るだけ短くすることが必要です」（関脇支配人代理）

コース管理スタッフは社員19名、パート・アルバイト派遣を含め計40名弱。コースの樹木が1万本以上あるため、剪定や芝



東12番クリーク

週日会員募集は完売、年会費も来年4月に改定

大利根CCは今年8月に週日会員を募集した。

「今年8月1日に個人週日会員



無人芝刈機は2台導入

の新規募集（総額404万円、入会預託金30万円（非課税））を実施しました。会員の紹介により約30名の募集をしましたが完売しました。

年会費については、今年3月に開催した理事会・取締役会で改定が承認されました。現在の年会費は、正会員6万6000円、平日会員と75歳以上は5万9400円、週日会員5万2800円ですが、25年4月からは正会員13万2000円、平日会員と75歳以上は11万8800円、週日会員10万5600円となります」（関脇支配人代理）

同CCは、その他の取り組みとして、ふるさと納税を21年11月より開始。メンバー限定でふるさとチョイスなどを通じて（3万、5万、10万、30万など）販売している。納税額の3割がゴルフ場利用券として利用できるため、現在までに100名程のメンバーが毎年納税するとのこと。

レストランメニューでは、大利根では鰻と云われるほど、鰻

重が一番代表的なメニューとなっている。鰻の仕入れは1年前から確保すること。毎年夏と冬にメンバー同伴者をメインに各料理が価格統一となる優待期間があり、メニューの注文の8割が鰻重という。

また、常陸牛や地元の豚肉を使った豚カツや生姜焼きなども人気。メンバーからのレストランメニューについての要望は、その都度「ハウス委員会」でメニューを増やすかを判断しているといる。お土産では季節のフルーツが一番の人気だそうだ。

最後に今後について語っていただいた。

「直近の問題は従業員の確保です。コース管理スタッフ・キャディの人員不足は何処のコースでも同じ悩みだと思いますが、若い人たちが職場に何を求めているのかは、給与の金額だけではないと思います。サービス業でも土日祝にもう少し休みが取れれば、応募も増えるのではないかと思います。難しい課題ですが…」



鰻重は大利根CCの代表メニュー

用するメンバーさんの自由度を可能な限り守っていきたいと思います」（大森支配人）

「当クラブは、通常であれば、休憩ハーフ40分、プレー時間2時間とスピーディーに回れるゴルフ場です。メンバー様にとつては利用しやすい満足度の高いゴルフ場ではありますが、今後は、高齢化が進むなど、時代の変化にどのように対応していくかが課題です。

来年7月にリチウム式のカートを24台導入し、プレーの選択肢が広がります。皆さんのご利用の仕方を見ながら、今後のゴルフ場運営を考えていきたいと思います」（関脇支配人代理）

キャディの確保を考えると、翌日の組数が分かっているとラウンドへの準備がしやすいですが、フリー枠を利